



議会ホームページへ



議会だよりへ

半田銀山 祇園ばやし

桑折町 半田銀山祇園ばやし

主な内容

- 新年あいさつ・抱負 ②
- 12月定例会(条例改正・廃止、補正予算) ④
- 議員10名による一般質問 ⑧
- 議会報告・意見交換会 ②②
- 議会モニター ②⑧

歴史と文化の町こおり 半田銀山再興150年記念イベント
半田銀山祇園ばやし 演奏 半田醸芳小児童
(令和6年11月10日(日) 11:00～17:00)

今年も町政発展のため全力を尽くします

かわむら しげみち
川村 滋道



本年も皆様の声を行政に届け議会のチェック機能を発揮すべく精進いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

さいとう まつお
齋藤 松夫



一年の計は元旦に、議会活動の原点は掲げた公約にあり。今年もこの思いつらぬき頑張ります。皆様のご多幸をお祈り致します。

はんざわ まさやす
半沢 正保



桑折町政の発展並びに子どもたちが「よりよく成長できる心豊かなまち」をめざし学校教育環境充実に全力で取り組んでまいります。

はねだ
羽根田ひとみ



行事やボランティアに積極的に参加し、現場に足を運び課題を探究します。町外の情報を集め提案し、明るく元気に活動致します。

いしはた まさこ
石幡 政子



町民の皆様の健康と希望に満ちた日々の暮らしを共につくってまいりましょう。今年もしっかり働いてまいります。

おかもと たかし
岡本 貴士



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。引き続き、本町の輝かしい未来のために、倦まず弛まず励む所存でございます。

すずき たかし
鈴木 隆志



コロナ感染、インフルエンザ等、心配される季節、体調管理にご留意ください。今後も、町民目線で議会に取り組んでまいります。

さとう たけろう
佐藤 武朗



昭和の大合併から今年で70年の大きな節目、今後のまちづくりに欠かせない移住・定住につながる手法について取り組んでいきたい。

さいとう けん
斉藤 謙



今年も宜しく、経済的に大変厳しい時代が予想されます。未来を受継ぐ子供達のために、確かな財政、確かな福祉、確かな生活。

はんざわ たかし
半澤 高



国・県・町の情報を迅速的確にキャッチしながら、町民の皆様の声を「まちづくり」に反映できるように一層努めてまいります。

議会から町民の皆さまへ

2025

謹賀新年

令和7年

議会機能を
発揮して



議長 原 賢志

新年あけましておめでとうございます。皆様方には穏やかに初春をお迎えのことと存じます。本年が皆様にとりまして良き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。また、旧年中は議会活動各般にわたり、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新年度から「桑折町総合計画『献上桃の郷こおり 未来躍動プラン』中期基本計画」に沿ってまちづくりが進められてまいります。議会といたしましても、町民の皆様が安全安心に暮らせるまちづくりのために、議会機能を十分に発揮し町政進展に向け一層の努力を傾注してまいります。引き続きのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

責任ある
議会の役割を



副議長 川名 静子

令和7年の幕開け、皆様方には穏やかな年を迎えられたことと思います。

今年の干支は不老不死のシンボルと言われる乙巳(きのとみ)です。ちょっとだけあやかりたいですね？

さて、人口減少・少子高齢社会が抱える課題は山積みですが、単独立町・自立の道を選択した本町です。誰もが「住んで良かった住み続けたい」と言える桑折町づくりには、これまで以上に二元代表制のもと議会の役割・責務が求められます。議会の持つ議決権・チェック機能をしっかり果たしていくことが責任ある議会の役割と考えます。一議員としては今年も皆さまの声を敬聴し、町政に活かしていきます。

結びに、今年も皆さまにとって良い年になりますようご祈念申し上げます。

公職選挙法により、年賀状などのあいさつ状や寄附等の行為をすることは禁止されております。本紙面を持って「年頭のごあいさつ」とさせていただきます。町民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

◆議案第49号 介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ864万1千円を追加し、予算総額を18億5,971万5千円とする。

歳入補正額 (千円)		歳出補正額 (千円)			
一般会計繰入金	203	総務管理費	656	介護予防・日常生活支援総合事業	2,057
繰越金	8,438	介護認定審査会	846	償還金および還付加算金	1,182
		介護予防サービス等諸費	3,900		

◆議案第50号 水道事業会計補正予算(第1号)

資本的収入支出それぞれ1,556万円を減額し、資本的収入額1,144万円、資本的支出額1億930万4千円とする。

《収入》 (単位:千円)				《支出》 (単位:千円)			
科目	既決予定額	補正予定額	計	科目	既決予定額	補正予定額	計
資本的収入	27,000	△15,560	11,440	資本的支出	124,864	△15,560	109,304
(企業債)	27,000	△27,000	0	(建設改良費)	56,096	△15,560	40,536
(負担金)	0	11,440	11,440				

・伊達桑折IC周辺開発の水道整備事業設計業務委託費を一般会計の負担とする

◆議案第51号 下水道事業会計補正予算(第1号)

◎収益的収入および支出

《収入》 (単位:千円)			
科目	既決予定額	補正予定額	計
下水道事業収益	254,640	561	255,201
(下水道使用料)	70,192	561	70,753

《支出》 (単位:千円)			
科目	既決予定額	補正予定額	計
下水道事業費用	251,704	529	252,233

事由:収益的収支:県人事委員会勧告に伴う
人件費の増・企業債利息

◎資本的収入および支出

《支出》 (単位:千円)			
科目	既決予定額	補正予定額	計
資本的支出	186,685	△45	186,640
建設改良費	49,599	△4,400	45,199
(公共下水道建設費)	45,863	△4,400	41,463
企業債償還金	137,086	4,355	141,441

事由:工事請負費△440万円
企業債償還金435万5千円

請願・陳情 審査結果

	請願者	審査委員会	審査結果
政党機関紙の庁舎内勧誘行為の禁止の確認を求める陳情	福島市野田町字八郎内57-8 福島県を明るくする会	代表 嶋原 隆 総務文教 常任委員会	不採択
臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	東京都新宿区西新宿3丁目3番13号 一般社団法人中国における臓器移植を考える会	代表 丸山治章 議員に配付	

特別委員会設置

◆発議第2号 「議員のなり手不足調査特別委員会」設置について

本議会に議員のなり手不足調査特別委員会を設置し、11名の委員をもって構成し、議員のなり手不足対策のため、次の事項を付託する。

1 調査事件 議員のなり手不足に関する調査

2 調査期限 1に掲げる調査が終了するまでとし、閉会中もなお調査を行うことができる。

第1回 調査特別委員会開催 12月10日
委員長 川名 静子 副委員長 半澤 高
委員長および副委員長の選任を行った。



12月 定例会

●会期:令和6年12月4日(水)～10日(火)(7日間)

提出議案 審議採決

条例改正2件、条例廃止1件、補正予算5件、陳情1件、発議1件

条例改正

◆議案第44号 桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

内容 県人事委員会勧告に準拠した条例改正である。

◆議案第45号 桑折町民研修センター条例の一部を改正する条例

内容 令和7年度からの指定管理にあたり、昨今のエネルギー価格、諸物価高騰をふまえ近隣類似施設と比較し、宿泊使用料の改正。



条例廃止

◆議案第46号 桑折町保育所条例を廃止する条例

内容 令和7年3月31日をもって、醸芳保育所を閉所するため。

討論はP6～7へ

補正予算

◆議案第47号 一般会計補正予算(第5号)

既定の予算総額にそれぞれ1億4,003万円を追加し、予算総額を67億2,763万1千円とするもの。

項目	補正額(千円)	摘要
地方債	31,600	保健福祉センターやすらぎ園減災化工事費
国庫支出金	18,495	児童手当負担金
財政調整基金繰入金	46,586	一般財源として充当

項目	補正額(千円)	摘要
児童手当措置費	16,537	支給対象児童を高校生年代まで拡大、所得制限の撤廃、第3子以降への支給額拡充
保健福祉センター費	31,603	集団検診室天井部分の減災化工事(工期令和7年2月～6月予定)
上水道総務費	11,440	伊達桑折IC周辺開発に伴う水道整備事業設計業務委託費負担金

◆議案第48号 国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)

既定の歳入歳出予算総額にそれぞれ634万4千円を追加し、予算総額を13億648万2千円とする。

歳入補正額 (千円)				歳出補正額 (千円)	
国民健康保険税	1,210	繰入金	△779	総務費	1,344
国庫支出金	515	繰越金	913	保険給付費	5,000
県支出金	4,485				



臨時会
第5回
11/19

◆承認第1号
10月27日実施された衆議院選挙委託金の専決処分の承認について
一般会計予算総額にそれぞれ793万3千円追加し、予算総額65億8,723万5千円とする。

歳入(千円)		歳出(千円)	
県委託金	7,933	選挙費	7,933

◆議案第42号
一般会計補正予算(第4号)
一般会計歳入歳出予算の総額にそれぞれ36万6千円を追加し、総額65億8,760万1千円とする。

歳入(千円)		歳出(千円)	
繰越金	366	児童福祉費	366

事由：原発避難者に対する保育料の減免措置算定の追加分

◆議案第43号
介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)
歳入歳出予算の総額に、それぞれ28万4千円を追加し、総額18億5,107万4千円とする。

歳入(千円)		歳出(千円)	
繰越金	284	介護認定審査会費(職員手当)	284

討 論 一 覧 表

賛 成		議案	反 対				
老朽化した保育施設を解体するのは仕方がない。子育て世代にとって便利で子育てしやすい環境ができるため賛成する。	羽根田ひとみ 議員	第46号 条例廃止	川村 滋道 議員	行政事務執行の基本である執行経過を記録とし 応じた等、廃止に伴う契約も記録もない中で子 民がいつたとしても誠実かつ明確に答えられる 記録も根拠もない状況のまま廃止を 明がつかない。条例廃止に反対する。	て残さず、またある時は電話で対 ども園を着工した。行政文書は町 よう、記録保存されるべきであり、 行う事は町民に対し説	斉藤 謙 議員	私は今回の保育所廃止の条例改正には反対だ。 何故なら、認定こども園に関する事務手続きが法令に則った取扱いをしていない。 現在の状況では、事業者が独自に開設する民営認定こども園事業である。このこと は町長が議会で答弁してきたものだ。その内容を変え、町保育所廃止の受け皿とす るには、そのことの合意文書がなければならない。
保育所の廃止後、町民は、こども家庭庁が所轄する 認定こども園を利用できる。保育所は保育の必要性 がある家庭のみ利用できるものであったが、新設さ れる認定こども園は、保護者の就労状況にかかわら ず、利用できるものである。町民の多様化する保育 ニーズに応えるものであり、福祉の向上に寄与する ものである。	岡本 貴士 議員		齋藤 松夫 議員	以下の4つの理由で反対する。①町営存続の町 瑕疵ある事務の連続執行の政策。②1,400名余の ③「15才のめざす姿」という、町教育方針に逆行 を受けている、旧統一協会と関係を持っていた方	方針・計画無視の事務執行等々、 「保育所等存続陳情」無視の政策。 する政策。④文科省から解散請求 が運営する法人にあげ渡す政策。		川名 静子 議員
議案第47号一般会計補正予算(第5号)に賛成する。 当補正予算には、道水路維持管理に640万円、災害 の際に福祉避難所となる「やすらぎ園」の減災化工事 に3,160万円、児童手当支給事業に1,654万円など 町民生活に密接に関連する重要な予算が計上されて おり賛成するものである。	半澤 高 議員		鈴木 隆志 議員	認定こども園が開園することは理解しているが、 園を事業者に決定し、移行条件が整わない中、わ で、移行する必要があったのか。 保育所等の存続と発展を求める陳情署名が提出 したことから反対とする。	待機児童ゼロの町で、認定こども ずか2か月で、保育所廃止してま され、町民に不安・不信感を招い	鈴木 隆志 議員	
除雪車がスムーズに作業ができるための道路改修 や、半田山山開きをゴールデンウィークに早めるた めの準備など。今必要な予算であるために賛成する。	羽根田ひとみ 議員	第47号 補正予算	齋藤 松夫 議員	川村議員と同様の理由で保育所解体 光交流センター設計監理費予算計上 観光交流センター本体工事圧縮は承知しかつ評 価する。	設計監理費、および観 に反対する。補足だが、 価する。	川名 静子 議員	今補正には、町民に関連する予算、児童手当の増額分等重要であることは十分承知 している。しかし、この中に保育所解体工事 実施設計委託料550万円が計上されて いる。先の「保育所条例を廃止する条例」に反対したことから同じ態度をとる。



会議結果表へ

一目でわかる 審 議 結 果

令和6年第6回桑折町議会定例会

一般質問者	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保
	○	○	○
	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士
	○	○	—
	鈴木隆志	佐藤武朗	斉藤 謙
	○	○	○
	半澤 高	川名静子	原 賢志
	○	○	—

○賛否の分かれた議案

議案名	議員名												可 否
	川村 滋道	齋藤 松夫	半沢 正保	羽根田 ひとみ	石幡 政子	岡本 貴士	鈴木 隆志	佐藤 武朗	斉藤 謙	半澤 高	川名 静子	議 長	
議案第46号 桑折町保育所条例を廃止する条例	●	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	—	可決
議案第47号 令和6年度桑折町一般会計補正予算(第5号)	●	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	—	可決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 討論者

令和6年第5回桑折町議会臨時会

○全会一致で可決の議案

議 案 名	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて
議案第42号	令和6年度桑折町一般会計補正予算(第4号)
議案第43号	令和6年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)

○全会一致で可決の議案

議 案 名	
議案第44号	桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第45号	桑折町民研修センター条例の一部を改正する条例
議案第48号	令和6年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)
議案第49号	令和6年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)
議案第50号	令和6年度桑折町水道事業会計補正予算(第1号)



議 案 名	
議案第51号	令和6年度桑折町下水道事業会計補正予算(第1号)
発議第2号	議員のなり手不足調査特別委員会設置について
	所管事務調査報告について
	桑折町議会議員の派遣について
	閉会中の所管および所掌事務調査の申し出について

※報告は採決なし



さいとう 齊藤 謙 議員

質問 伊達崎橋の完成イメージ図は

答弁 今後の説明会開催で示すのでは

伊達崎橋道路は、県道浪江線で、基幹道路であるので、橋、舗道をつくるということであるが、最終的にはどのような橋ができるのか、イメージ図を作った欲しい、橋は国、舗道は県ということで、どのように作られるのかさうぱりわからないが、何故、現在の県道の北側だけを拡張する考えなのか。住民が要望・苦情等があった場合に



伊達崎橋

は、どこに問い合わせればよいのか。また、説明会は一回だけか。議会への説明会は開催予定はない。 答 町長 地元への説明会は今後も開催されるものと思料する。要望等の相談があれば、町建設水道課が窓口となる。詳細については、良く分からない。町にも説明会の案内はない。今後、充分説明できるようにしたい。

質問 役場職員の原価意識を強化すべき

答弁 類団比較では少ない

補助費等は全体的な中で構成比率が4番目と高い。しかも毎年増加傾向が伺われる。問題は補助費等には、保守料、委託費、各種補助金等が歳出内容に入っている。補助金等にはいろいろな費用が入っている。各種補助金を予算編成する場合、目的と効果について、担当者は規則に基づき通りに実施されているのかを確認しているのかや前年度比較での増減をしっかりとチェックしているのか大変疑問である。町の財政運営も年々厳しくなることの認識強化を図り、各団体への補助金が恒常的となっていないか等指導強化すべき。

補助金については趣旨や対象、要件等、補助目的ごとに定めた要綱に基づき決定し、交付しているところである。類似団体と比較しても低い数値を示している。 答 町長 補助事業は多岐に渡ることから、一覧表にして作成することは困難である。補助目的と効果については「桑折町補助金等の交付等に関する規則」に基づく事業計画や実績報告により確認している。

町民の思いや願いを届ける

12月定例会は議員10名が登壇

65分



※青字は、質問の概要を掲載しています。

※各問答は、質問者の責任で作成した原文を掲載しています。問い合わせは、各議員にお願いします。

登壇議員	質 問 事 項
さいとう 齊藤 謙	① 財政運営等に関して(4年度決算カードより) ② 伊達崎橋等に関して 3 防災関係等に関して 4 学校等の統廃合に関して 5 町内会等の要望に関して 6 森林環境譲与税等に関して 7 支援金等の問題に関して
はんざわ 半澤 高	1 たびたび表面化する「事務ミス」への対応および再発防止策等について 2 誰もが安心して利用できる「大かや園」のあり方について ③ 一般国道13号・福島西道路北伸の今後の展望について ④ 2027年に製造終了となる蛍光灯(蛍光管)への対応について
すずき 鈴木 志隆	1 犯罪被害者支援条例制定について 2 犯罪被害者見舞金給付制度について ③ 幼保連携認定こども園の運営に関する覚書について ④ 小・中学校のあり方検討委員会について 5 行政事務適正化に向けて
かわなみ 川名 静子	① 障がいを持たれた方への手当・助成等の拡大や町配布の冊子の見直しに関して 2 緊張感を欠く行政事務の改善策はあるのか 町民の信頼は取り戻せるのか ③ 次年度から2つとなる幼稚園のあり方と町教育委員会との連携について 4 令和7年1月11日開催の町制施行70周年記念事業は町民と共に祝う計画か
はねだ 羽根田 ひとみ	1 半田銀山シンポジウム開催の反響と今後の取組について ② 桑折町イメージソングの公募を ③ ごみ減量化のための工夫と回収システムの見直しについて 4 障がいを持つ方に対する取組、窓口の対応について 5 本町の不妊治療費助成について
いしはた 石幡 政子	① 「紙類」資源ごみの回収と生ごみの減量化について ② 商店街の活力づくりの推進について 3 教育現場における「ウェルビーイング」の向上をどのように実現するか
かわむら 川村 道滋	① 桑折町小・中学校のあり方検討委員会について伺う 2 蚕糸跡地活用事業公募型プロポーサル実施要領に基づく基本計画作成について伺う 3 国保税の均等割関連で伺う 4 本町の非正規職員の状況について伺う ⑤ パートナシップ制度の導入について伺う
さいとう 齋藤 夫	① 「既議決事項等は質問すべきでない」との「総務課見解」について ② コンプライアンス確立の観点からの蚕糸跡地活用事業について 3 エアコン未設置の生活保護家庭への町独自の支援策について 4 未整備生活道路等の整備計画策定について 5 小・中学校のあり方検討について
さとう 佐藤 朗	1 昭和の大合併から70年、現時点の想いと今後のまちづくりに対する考えは 2 新庁舎移転から3年が経過し町民サービス等に関する評価は ③ 本町の将来を見据えた農業政策について 4 インター周辺の開発に伴う今後の本町の取組について ⑤ 移住・定住推進のための取組について
はんざわ 半澤 保正	① 桑折町総合計画見直し並びに学びの変革に基づく、学校教育推進の進捗について 2 地球環境温暖化にともない各地区避難所である学校の整備計画について ③ 30年以上続いた駅前イルミネーションの存続の支援策について

一般質問とは、議会で議員が行政(町長や役場など)に対して、町民の関心事や問題点について質問し、その答えを求める制度です。これにより、行政の運営状況を確認し、政策の改善や問題の解決を図ることを目的としています。

議会だより— 8

これも 質 問

- 問 町内会要望に関するフィードバックを丁寧に 答 現地立ち合いを実施する等理解を頂いている
- 問 義援金の遅配の懲戒処分は 答 桑折町規則に基づき進めている
- 問 学校の在り方は、住民の意見を優先しているか 答 学校に対する期待や要望等を伺い検討する

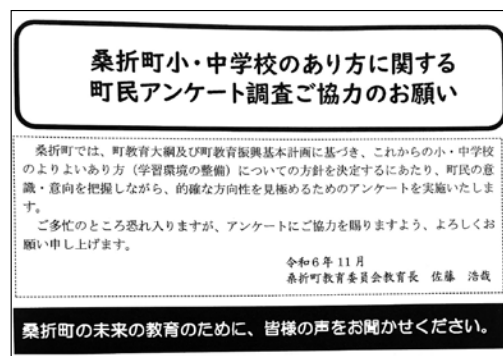


鈴木 隆志 議員

質問 住民等説明会はいつ実施するのか

答弁 来年1月中開催予定している

- 問 5月予定の小・中学校のあり方検討に関する町民向け広報周知は。
答 教育長 アンケート協力依頼のリーフレットを12月、各戸配布した。
問 8月開催予定のあり方検討委員会を開催しなかった理由とその後の開催は。
答 教育長 業者選定やアンケート項目の打ち合わせ等に時間を要し11月開催した。
問 9〜10月実施予定していた関係団体・住民等説明会を実施しなかった理由とその後の開催は。
答 教育長 説明会を8月開催のあり方検討委員会開催後に実施する予定が、11月あり方検討委員会開催となったことから、1月中開催予定。
問 12〜1月実施予定としていた町民アンケート調査は。
答 教育長 回答期限を12月17日として11月29日調査対象者あて発送した。



町民アンケート

質問 こども園から小学校への接続は

答弁 検討委員会で共有を図っていく

- 問 幼保連携型認定こども園から小学校への円滑な接続のため、どのように関わっていくのか。
答 教育長 「桑折町幼保小架け橋プログラム検討委員会」に「桑折青空こども園」を参画させ、協議していく。
問 3歳〜5歳児は、「0歳〜2歳児の兄弟姉妹がいる家庭を優先的に入園させる」とあるが、どのように利用調整を図っていくのか。
答 教育長 「桑折町保育所」の利用調整に関する要綱に基づき保護者の状況を指数化し、優先順位を決定する。
問 子ども子育て支援センターの業務は。
答 教育長 「桑折青空こども園」に業務委託する。
問 子ども子育て支援センターの委託料は。
答 教育長 国の「子ども・子育て支援交付金要綱」に基づき、年400万円程度の町負担を見込んでいます。

質問 国道4号福島北道路計画の今後は

答弁 国土交通省へ強く要望中



半澤 高 議員



国土交通省・令和6年実施 国道4号福島北道路アンケートより

- 問 国道4号福島北道路（福島西計画、ルート決定等は今後どのように進められていくものなのか展望を伺う。
答 町長 国道4号福島北道路は、国道4号福島市北部から桑折町を発着する交通と、当該区間を通過する広域的な交通が混在し、渋滞や事故などの課題を抱えており、この区間の課題を解決する道路計画である。その検討のためには今年1月から3月まで実施したアンケート結果の取りまとめ中と聞いている。
町としては、伊達市・国見町とともに10月に「福島都市圏伊達地域道路整備促進協議会」を立ち上げ、12月14日には、東北地方整備局長、国土交通省道路局長に「福島北道路の早期計画策定、並びに桑折町内における国道4号接続」を、強く要望してきたところだ。

質問 製造終了となる蛍光灯対策は

答弁 LED化の計画的更新が急務

- 問 2023年に開催された水銀に関する水俣条約第5回締結国会議にて一般照明用の蛍光灯ランプ（蛍光灯）の製造・輸出入を2027年12月31日までに段階的に廃止することが決定されている。すでに使用している製品の使用や廃止日までに製造された製品在庫の売買、使用を禁止するものではないとの事であるが、町内各施設などのLED化をさらに計画的に進めるべきと考えるがいかがか。
答 町長 LED化については「桑折町役場地球温暖化対策実行計画」に基づき更新を進めているが、今後、蛍光灯の入手困難が予想されることから全施設の計画的な取組が急務と捉えている。

これも質問

- 問 歳入歳出外現金の管理徹底は
答 「歳入歳出外現金管理マニュアル」を策定済
問 「大かや園」浴場のカビ対策は
答 専門業者による抜本的対策について調査中



はねだ 羽根田 ひとみ 議員

質問 ごみ減量意識を高めるには

答弁 水切り方法を周知する

問 回収作業員の方は水分の多い生ごみに苦労されている。ごみ減量化のためには町民の意識が重要だと思う。クリーンセンターを見学した町内会からは意識が高まったと聞く。町で、見学会を企画してはどうか。また水切りのグッズ「水切りダイエット」を配布して水切りをする必要性を伝えたとのことだ。町でも工夫が必要ではないか。

答 町長 回収作業員のセンター見学を入れる。水切りの必要性や方法を広報していく。問 説明会や町の広報誌を読む人は意識が高いが、もっと広く伝えるための工夫として放送してはどうか。答 町長 広く周知する方法を検討する。問 瓶回収を色別の大きなコンテナにしてはどうか。答 町長 コストの面からも厳しい。



生ゴミの80%は水分

質問 必要な人へ必要なサービスを

答弁 手を差し伸べていく



かわな しずこ 川名 静子 議員

問 本町の障がい者に対して様々な福祉サービス策が施されているが他町との違いが多く出た。助成等の拡大、冊子の見直しを伺う。答 町長 障がい者手帳取得申請時に必要な診断書作成費用の助成は。個人負担となる。問 在宅酸素療法者酸素濃縮器使用助成がなぜ本町は対象とならないのか。答 町長 近隣市町で電気料金の一部助成を行っているのは承知しているが格差を生まず支援が必要な方には手を差し伸べる。問 人工透析患者 通院交通費助成



さらに詳しくわかりやすい情報の掲載に

は要件があることや県事業の「アピランス」ケア助成について冊子に掲載しては。答 町長 交通費助成は年数件あるが窓口相談等での情報提供に努める。問 町配布の冊子更新時期とより詳しい内容になるか。答 町長 「福祉サービスに関する冊子」は毎年更新している。分かり易い紙面づくりに取り組む。問 アピランスケアとは、病気の治療から外見が変わっても安心して自分らしく生活が送れるよう、ウィッグ・乳房補整具等へのケアのこと

質問 町イメージソングはあるのか

答弁 応援する個人や団体が披露することは歓迎する

これも 質問

問 障がいを持つ方に對しての窓口の対応は手話やオンラインなども含め対応している。答 本町の不妊治療費助成は1回10万円を上限に行っている。問 半田山自然公園管理棟に銀山PRの展示を写真や資料を展示する

問 多くの自治体に市町村民歌やイメージソングがある。来年は町政施行70周年の記念の年。これをきっかけにイメージソングを公募してはどうか。町民が町に愛着を持つのではないかと。答 町長 自治体において作成する事案はあるものの多くは著名なアーティストが関わる例が多く、一時の話。題性はあるが、町民への浸透を図ることは難しく町としての作成は考えていない。



追分情話

問 町で作成するのではなくオーディションをしては如何というのである。町民だけにこだわらず、音楽を学ぶ学生や業界にもアプローチし広く本町に関心をもってもらえるのではないかと。答 町長 応援する個人や団体がオリジナル曲を作成し、披露することについては歓迎する。

質問 統一した幼児教育ができるのか

答弁 覚書で合意している

これも 質問

問 死亡から配分権利が消滅した13世帯の確認は住民基本台帳により死亡が確認された。町制施行70周年記念事業への町民参加は7年を通し展開する事業の中で参加頂きたい

問 新年度から2つとなる幼稚園のあり方と町教育委員会との連携について伺う。答 11月29日締切った各幼稚園のクラス別応募人数は。問 教育長 釀芳幼稚園3歳児39、4歳児65、5歳児52計156名で、青空こども園は3歳児23、4歳児6、5歳児4計33名だ。問 現保育所・幼稚園に勤務している会計年度任用職員は。問 教育長 運営に関する覚書で合意、町教育振興基本計画を推進し保育・教育の実現を図ることから、反映されると捉える。問 教育大綱を実施する際、認定こども園との共有・関与はどこまで可能か。答 教育長 「運営に関する覚書」で合意、町教育振興基本計画を推進し保育・教育の実現を図ることから、反映されると捉える。



かわ ぶら しげ みち
川村 滋道 議員

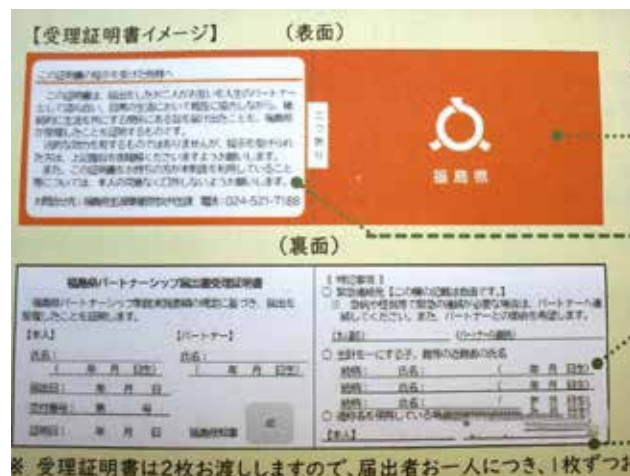
質問 パートナシップ制度の導入を

答弁 本年度中の実施を目指す

問 県が9月2日からパートナーシップ制度をスタートした。この制度はお互いが人生のパートナーとして認め合った二人が協力して共同生活を行う関係であることを届け出、県がその届け出を受理した事を証明するもの。法律上の婚姻とは異なり法的な効力が生じるものではないが婚姻が認められていない戸籍上同性のカップルが家族として

扱われない事による生活上の不便さを軽減し、誰もが人生のパートナーと協力しながら、安心して暮らせる環境作りを進めるもの。本町の取組状況を伺う。

答 町長 町民の意見も聞きながら男女共同参画プラン懇談会においても速やかな議論を深めて頂くよう努めてまいりたい。本年度中の実施を目指す。



福島県パートナーシップ届出書受理証明書

質問 小中学校あり方検討委員会を伺う

答弁 1月に住民説明会を行う

問 アンケートをするには、教育委員会で作成した検討委員会の皆さんの意見を聞き、さらに住民説明会で町民の意向を踏まえて、どのような前提条件を出せばアンケートに答えていただくのかという吟味が必要と思う。既に配布されたアンケートの集約時期をズラし住民説明会が済んでから集約するのが適当と思う。

答 教育長 当初予定の8月の住民説明会は、アンケート導入実績のある業者との調整や項目の精査で予定の時期に住民説明会が出来なかった。町民の皆様のためにも無作為に千名の方々に最初問い合わせ、保護者の方々には別途再度問いかけた。アンケートは既に発送されているので集約は当初の予定通り実施したい。尚1月に住民説明会を開催する予定。

質問 紙類の回収と生ごみの軽量化は

答弁 きめ細かな周知で徹底していく



いし はた まさ こ
石幡 政子 議員

本町はごみ排出量削減に向け、広報誌での周知や各地区、団体への出前講座など、きめ細やかな対策を実施することで町民の意識醸成に努め、効果を上げている。そこで次の2点について伺う。

問 本年度はごみ回収日を変更し、古紙雑紙の分別リサイクルに取り組んでいるが、現段階での昨年度比を伺う。

答 町長 補助件数については、昨年度3件であったが広報誌や窓口等で継続的な周知に努めた結果、今年度は既に7件となっている。

問 可燃ごみの減量、軽減をするためには生ごみ対策のポイントになる。以前から電動生ごみ処理機を普及するため補助金制度を導入しているが、増加しているか。その実態について伺う。



黒土で生ゴミ処理

質問 商店街活力づくりの推進施策を伺う

答弁 プレミアム商品券で事業支援をした

問 今年度初めての取組として「電子版ホタテPay」商品券の発行があった。事業が終了しており、成果についてどのように分析したのか伺う。

答 町長 生活支援の目的で従来の商品券に加え、キャッシュレス決済の普及とデジタル化の推進を図るため、電子商品券を発行した。効果については、デジタルデバイスが大いと言われる高齢者の利用割合は30%を超え、期間終了後には電子

決済比率が上昇した。

問 商店街の賑わいを取り戻すため令和4年度から空き店舗の活用を図る支援を進めているが、容易ではない事業が多いと思う。この事業を展開していく課題についての分析を伺う。

答 町長 出店支援事業については、令和4年度から改修費、賃借料等の補助を実施している。今年度はこれまで4店舗出店につながり一定の成果を得ていると捉えている。一方で出店相談はあるものの店舗の構造上の問題などがあり、希望に沿う物件が少ない状況があることから、桑折まちづくりネット等と連携し、引き続きその掘り起こしに努める。

これも 質問

問 教育における「ウェルビーイング」とは「調和と協調」に基づき主体的に解決に向かう力を育む

社会情勢の変化や後継者不足などの要因で商店街が衰退している現状に危機感を持っている。その対策として、行政の真摯な支援が桑折の商工環境を上向きにしていくものと期待する。次の2点を伺う。

これも 質問

問 未就学児の均等割負担の免除金額は23名が対象で25万円の負担

問 非正規雇用職員の待遇改善を

答 会計年度任用職員制度で雇用、理解を

問 保育所を公営から民営にする文書が無い

答 覚書がそれに対応するものと考えてる



佐藤 武郎 議員

質問 耕作放棄地の解消に向けては

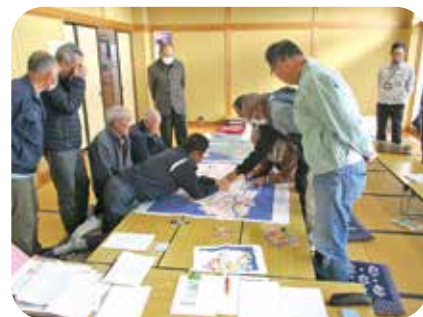
答弁 実効性のあるものに再構築する

問 地域計画策定の進捗状況と課題は。

答 町長 将来の担い手や耕作状況の「見える化」に向け、7地区で目標地図の素案作り。離農による遊休農地、耕作放棄地により荒れた農地、中山間地の有害鳥獣対策等と課題は多い。地域農業維持には、担い手を守る方策や新たな就農者の確保が必要。

問 耕作放棄地の解消はどのような。

答 町長 地域計画および目標地図が作成され



将来に向けて「見える化」の検討

問 新規就農者確保に各種の補助制度がある。目的は地域農業を守ることであり、制度の額に極端な差があつては如何か。制度の見直しを検討すべきでは。

答 町長 県の新たに創設された認定外新規就農者を支援する「農業でふくしまぐらし支援事業」等、町独自の支援制度も計画策定を機に、見直しを検討。



齋藤 松夫 議員

質問 町長答弁の裏付け文書はなかった

答弁 民間事業者が提案したものだ

問 本町においてコンプライアンスの確立は急務だ。この観点から情報開示請求で得た文書をもとに、次の事項を伺う。

① 蚕糸跡地利用の基本方針は、令和3年2月16日の政策会議で決定したものか。② 担当事務局は、まちづくり推進課と商工観光室との理解で良いか。③ 町が事業者と締結した基本協定の前段階で、基本計画を作成することの認識を、町長および関係各課で共有しているか。④ 「事業者の企画提案は町事業の民営化ではなく、事業者が独自に開設する民営事業である」との3年余にわたる町長答弁を裏付ける文書確認のため、情報開示請求をしたが、開示された文書は民営化提案そのものだ。なぜこのような答弁なのか。

答 町長 ①②③は、いずれも議員おただしの通りだ。④はこれまでの答弁通り、民間事業者から提案されたものである。

情報公開請求書	
月 日	
請求者 住所 氏名	
請求する公文書の件名又は内容（具体的に記入）	
請求の目的	
請求の区分	☐ 1 町内に住所を有する者 ☐ 2 町内に事務所又は事業所を有する個人及び法人その他の団体 ☐ 3 町内の事務所又は事業所に勤務する者 ☐ 4 町内の学校に在学する者 ☐ 5 上記以外の利害関係を有する者
公開方法の区分	☐ 閲覧 ☐ 写しの交付（ ☐ 来庁 ☐ 郵送）

※情報公開請求書の概略紹介です

情報公開請求は町民の権利

質問 総合的に相談ができる組織を

答弁 将来に向け検討してみたい

これも 質問

問 町政70周年を迎え、将来に向けての想いは

答 町民の英知を結集したまちづくりの推進

問 町組織再編後の業務運営に対する評価は

答 体制を維持し、中期基本計画の推進を図る

問 イオンモール来客者の本町への回遊策は

答 恵まれた地域資源の情報発信に努める

問 島くらし&ごとフェアが今年も東京で開催され、県内全ての自治体59市町村が参加。過去最大70団体を超える相談ブースが展開された。本県への相談件数は、4年連続で全国3位。本町独自の取組も必要と考えるが。

答 町長 子育て支援策をはじめ、交通や生活の利便性が高く評価され、近年若い世代を中心に社会増につながっている。広く移住者希望者の要望やニーズを把握し、「桑折ならでは」のより良いブラシユアアップし情報発信に力を入れる。

質問 既議決事項の質問ダメとはなぜ

答弁 他議員意思の無視となるため

問 9月定例会の総括として総務課から「既議決事項への質問、ふさわしくない」という見解が示された。一旦議決して町当局が修正した事例はたくさんあるでないか。国会でも政治資金規正法の改正など、改正議決後も議論している。総務課見解はこれらすべてを否定するものか。なぜこのような見解か。町長もそのように考えているのか。

答 町長 議決は「議会全体の統一した意思」として、重く受け止めている。議決事項を否定する質問は、他議員の意思を否定するものとなりかねないといえている。このような問題は議会内部で協議されるべきだ。

これも 質問

問 エアコン未設置世帯への支援を

答 町独自支援は考えていない

問 生活道路整備計画を

答 町内会と情報共有し進める

問 小中一貫校ありきでないか

答 そうではない

委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 斉藤 謙

教育文化課長を招聘し、調査事件認定こども園の進捗状況についての質疑を行った。「幼保連携型認定こども園の運営に関する覚書」については、建築面積の相違は、トイレの増加等により変更となる。保護者への説明会開催は11月中旬に変更された。建築工事は計画通り進捗している。少子化時代の学校教育のあり方に関して小規模小・中学校の統廃合に関しては、住民が決めることで、町が決めることではない。と考えている。また、小中一貫校についても、あくまでも住民への理解促進のために、丁寧に説明し住民主体で決めること。なお、「幼保連携型認定こども園」を実施した伊達市を訪問し、総務文教常任委員会として調査することに決した。

広報広聴常任委員会

委員長 半沢 正保

当委員会は、議会だより編集会議を定期開催し、138秋号・139新年冬号を発行してきた。なお、新年・冬号より、次の構成員による新体制で、任期1年の編集会議を実施。

編集委員長 半沢 正保
副委員長 石幡 政子
委員 齋藤 松夫
委員 羽根田 ひとみ

「令和6年度第2回議会報告・意見交換会」を各地区公民館において、4日間にわたり開催してきた。数多くの貴重なご意見・ご要望等をいただき、大変有意義な会となった。また、電話やメールにて問い合わせやアドバイスをいただいた。より開かれた議会となるよう、今後の会の運営等について改善していく。（詳細については、p22～p25までを参照）

産業厚生常任委員会調査報告

産業厚生常任委員会の「商業分野における地域おこし協力隊制度の利活用について」の調査結果については、議会だよりには提言のみを報告いたします。

なお、調査目的、調査経過、調査結果についてはホームページ(結果報告のページ)をご覧ください。

【調査結果報告】
(提言)

本委員会は、商業分野における協力隊制度の導入検討を提言する。

協力隊制度は、その財源を地方交付税として、地域課題の解決に取り組める魅力あるものである。また、本町の既存事業である農業分野における協力隊制度の事例を鑑みれば、本町職員の制度理解、および事業推進力は十分であると考えられる。そこで、地域の賑わい創出・維持発展、および町民の生活の利便性の向上を目指し、先行事例を検証の上、商業分野における協力隊制度の導入を検討することを期待するものである。一方で、協力隊制度の導入にあたり、課題が報告されている。導入に際しては、関係各位の制度理解を図ることが肝要であることも申し添えておく。最後に、本調査を通じて、本町の農業分野における協力隊事業の先行性、有効性を再確認した。今後とも、本町の実績を活かし、地域の賑わい創出・維持発展、および町民の生活の利便性向上に向け、尽力することを期待したい。



産業厚生常任委員会

委員長 佐藤 武朗

本委員会は、閉会中の所管事務調査の「商業分野における地域おこし協力制度の利活用」について12月定例会での報告を目指し、総務省の資料による現行の協力隊制度の把握や産業振興課長の説明を受けた。

また、総務省等の資料から先行事例を参照した。協力隊制度を活用し、空き店舗の増加、後継者不足、人手不足といった商業分野における地域課題に取り組む事例を確認した。本町においても先行事例と同様の地域課題があるものか検証すべく、商業分野との関係者でもある桑折町商工会の会長および役員の方々と意見交換の場を設け商工業における課題、意見等を拝聴した。本町で創業・開業された若手創業者4名の方々とも創業時の課題等についての意見を拝聴した。このような経緯を経て12月定例会で所管事務調査の報告を行った。



議会運営委員会

委員長 半澤 高

閉会中の所掌事務調査事項である①「議会基本条例第20条に基づく検証」および②「一般質問のあり方について」に関して引き続き調査を進めてきた。

①「議会基本条例第20条に基づく検証」については、政務活動費が議会基本条例制定後に制度化され条項としてなかったため条例改正により追加する予定である。また、先進地議会の例を参考にチェックシートによる検証を進めるべく検討中である。

②「一般質問のあり方について」は、これまでインターネットで見ている方に理解しやすい一般質問を目指し諸々の変更を実施してきたが、今後3月定例会を目途に最終的な報告書を提出する予定。

なお、陳情書の受付に関しても協議中であったが、議会事務局に直接持参いただく点など取り扱いに関する取り決め事項を追加した。（詳細は議会ホームページ参照）

質問 学びの環境の整備充実を

答弁 計画的・段階的に整備



はん ざわ まさ やす
半沢 正保 議員



問 県内各学校で令和3年よりA1ドリルによる個別最適な学習が整備された。本町では未だに整備されていない。早急に導入してほしいと考える。所見を伺う。

答 教育長
A1ドリルについては、今定例会に補正予算を計上したところであり、中学校に導入することで、個別最適な学習の充実を図っていく。教員が複数の問題の採点等することなく学習状況を把握できることにより、教員の負担軽減に寄与することを期待している。

問 小学校における不登校児童の現状を伺う。

答 教育長
不登校児童は、11月末日現在いない。令和2年9月1日文科科学省「空調冷房設備設置状況調査結果一覧」から、特別教室のエアコンの設置率がわかった。

伊達市	47.2%
川俣町	65.4%
福島市	72.2%
国見町	100%



体育館移動式エアコン(1施設各4台)
新潟県燕市小中学校19校すべてに設置

問 桑折町は県平均の63.37%の設置率。学びの環境格差がある。特別教室へのエアコン設置および体育館へのエアコン設置(国見小学校体育館は冷暖房設備の設計中の所見を伺う。

答 教育長
校舎の大規模改修等計画的に実施してきた。校舎の老朽化など多くの課題を抱えているのが現状。酷暑時は特別教室を使用せず、教室で授業を進めることができるよう工夫して対応。これらも踏まえエアコン増設について検討。体育館へのエアコン設置については、学校施設および避難所の環境改善の観点から、学校部局と危機管理部局が連携し、有効な手法や財源等を研究。

質問 冬の風物詩 駅前イルミ復活を

答弁 町行政として、できる限り支援

問 『勢いのあつた40代から32年の時を経て、70代へと高齢化』、町を活性化しようとする32年間尽力し、冬の心暖まる灯火を継続していただけたことに心から感謝いたします。さ

答 町長
多くの町民から復活を望む声があがっている。追分まちづくり協議会を中心軸に再開し、安定して持続可能となる事業となるよう5つの支援策を提案する。

- 1 町広報による若手ボランティア募集
- 2 規模縮小・LED単色化などによる作業の効率化
- 3 経費への手厚い補助
- 4 イルミ関係備品の保管倉庫の確保
- 5 町ホームページやSNSによるイベントのPR

ご検討いただけないか所見を伺う。

問 多くの町民から復活を望む声があがっている。追分まちづくり協議会を中心軸に再開し、安定して持続可能となる事業となるよう5つの支援策を提案する。

答 町長
地域振興や賑わい創出に寄与している大変貴重なイベントであり、町としても支援してきた。追分まちづくり協議会の判断を尊重するとともに、次年度以降の再開を期待している。

て、JR桑折駅前イルミネーションは、冬の風物詩の一つとして定着し、町の魅力アップに貢献してきた貴重な事業が今年初めて途絶えた。町としての考えを伺う。



第32回 J R 桑折駅前イルミネーション2023

答 町長
地元住民が中心となった自主的な活動ではあるが、実施団体からの要請があれば、再開に向け、ボランティアの募集などできる限り支援していく考えである。なお、ボランティア事業に対する補助金は、実費の1/2と規定がある。この範囲内で今後も補助金を継続する考えである。

一部事務組合議会報告

令和5年度 一部事務組合への町負担金

(単位：千円)

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
公立藤田病院組合	58,737	58,275	58,485	59,743	91,834
伊達地方消防組合	245,867	222,270	208,482	208,724	209,554
伊達地方衛生処理組合	50,076	81,135	72,113	74,295	73,789
合 計	354,680	361,680	339,080	342,762	375,177

一部事務組合とは 行政の能率化、効率化を図るため、特定の事務を関係市町村で共同処理する方式です。

伊達地方衛生処理組合

選出議員 半澤 高・石幡政子

令和6年10月23日に定例会を開催し、一般会計、し尿処理事業特別会計、ごみ処理事業特別会計の令和5年度決算認定と各会計の令和6年度補正予算について審議・採決し全会一致で可決した。

なお、ごみ焼却施設更新事業に関しては周辺環境への影響調査方法書の縦覧、説明会の開催、意見募集を12月から1月にかけて実施する。

公立藤田病院組合

選出議員 斉藤 謙・齋藤松夫・鈴木隆志

定例議会開催される

去る10月15日議会が開催された。

議案は、

(1)条例制定1件

水道技術者管理者選任の条例可決

(2)条例一部改正4件

職員の懲戒の分限手続及び効果、給与・勤務時間条件、育児休業等に関する条例の一部改正可決

(3)令和5年度病院組合事業会計決算認定
経営収支175,768千円の純損失と4年ぶりの赤字決算。

伊達地方消防組合

選出議員 川名静子・佐藤武朗

消防隊員にも働き方改革を

西分署改築工事は、資材高騰や地盤改良等により若干遅れたが令和6年3月に完成した。引き続き南分署移転新築事業に着手した。今年の猛暑からも日中の救急需要に対し人員確保に苦慮している。この救急対応体制としてデイトタイム救急隊を導入し働き方改革をしている消防局を視察した。しかし、女性隊員が増えないのが課題だ。

福島地方水道用水供給企業団

選出議員 原 賢志

8月30日令和6年8月定例会が開催され、決算認定、条例改正1件および報告1件が提出され、原案のとおり可決された。

◆決算認定

令和5年度決算は、収益的収支(消費税抜き)は、3億8,114万7,167円が当年度純利益となり、前年度繰越欠損金に当年度純利益を加えた10億5,497万2,220円を、未処理欠損金として翌年度に繰り越した。

町が出資している法人の経営状況報告

一般財団法人桑折町振興公社

コロナ禍を乗り越え改善しつつあるが、エネルギー価格や食材等の度重なる値上げに加え、人件費の増化により収益を圧迫する厳しい状況が続いている。6次化商品については「幸福の王林水ゼリー」を9月から新発売するとともに、至福の桃シリーズの販売促進を図り収益改善に努めた。引き続き桑折町の食と農の情報発信を行いながら地域振興、交流人口拡大に努めている。

●農業振興活動拠点施設管理運営事業

「レガールーこおり」の管理運営については、集う・学ぶの具現化を目指し、伊達崎マルシェの開催、ピザつくり体験等を開催した。

(1)伊達崎マルシェの開催
・4月から9月の開催。
延べ810人の来場があった。

(2)交流会の開催
○桑折発食育食糧体験事業の実施
・伊達崎小学校5年生の総合学習の一環として、商品PRにかかるパッケージデザイン作成を行った。

・オンラインショップの強化
・の出店

●6次化産品開発事業

王林発祥の地をPRするため町内産王林と金剛水を使用した新商品「幸福の王林水ゼリー」を9月1日から販売開始した。

(1)仙台圏・首都圏における販路開拓・拡大
(2)物販イベントへの参加
・町内、町外イベントへ

令和6年度「ピザスタ」売上・利用状況

(令和6年4月～9月)

項 目	内容等	令和6年度	前年度	比較増減	対前年比
レストラン	来 店 者	5,739人	7,053人	△1,314人	81.4%
売 上 高	物産品売上	206,420円	540,189円	△333,769円	38.2%
	飲食売上	12,438,700円	16,301,862円	△3,863,162円	76.3%
事業仕入高	原 材 料 費	4,011,931円	4,545,124円	△533,193円	88.3%
		32.25%	27.88%	4.37%	115.7%
人件費支出	人 件 費	3,399,179円	6,014,481円	△2,615,302円	56.5%
		27.32%	36.89%	△9.57%	74.1%
体 験 事 業	ピザつくり体験	12回	9回	3回	133.3%
		144人	119人	25人	121.0%

○その他集客イベントの開催
・桃の収穫体験開催 7月から10日間で67名の参加があった。

よるPRを行う。

損益計算書

(単位：千円)

項 目	令和6年度	令和5年度
1 事業収益		
公用地取得事業収入	0	0
2 事業原価		
公用地取得事業原価	0	0
事業総利益	0	0
3 販売費および一般管理費	1,320	17,312
事業損失		
4 事業外収益		
受け取り利息	520	92
5 事業外費用		
支払い利息	0	0
経常損失	800	17,220
6 特別損失		
その他特別損失	0	21,327
当期純損失	800	38,547
当期損失	800	38,547

令和6年度は、公共用地等の取得事業や処分事業等は実施していない。なお、平成19年度において、工業団地売却により損失が生じたが、町からの補償により借入金返済を実施している。

土地開発公社桑折事務所



王林発祥の地



令和6年度 第2回 議会報告・意見交換会の概要報告



57名の皆さまにお集まりいただき、4地区におきまして有意義な話し合いができたことに感謝申し上げます。
各地区毎に主な話題をとりまとめましたのでご覧ください。

桑折地区

日時 令和6年11月5日(火) 18:30
会場 桑折公民館 参加者 8名

● 主な話題

① 少子高齢化への対応

少子高齢化に伴い、少人数教育を進めたり、学校の質を向上させるための取組を行った。地域の实情に合わせた教育プログラムの充実を図った。

② 政務活動費の調査

政務活動費の使い道について調査し、議会だよりで町民に透明性のある説明を行った。

③ 災害時のペット対応

災害時にペットを避難所で受け入れるための体制、避難計画に含めるように検討していく。

④ インフラ整備と老朽化

老朽化した公共インフラの更新を進め、地震や災害に備えるための事業を計画的に推進していく必要がある。

⑤ 地域活性化のための提案

地域イベントやボランティア活動を通じて、地域のつながりを深めた。住民が協力して地域の活性化に取り組んだ。

⑥ 議員の役割と責任

議員は地域行事やボランティア活動に積極的に参加し、町民の声を政策に反映させていかなければならない。地域課題の解決に向けた活動を行っていく。

⑦ 種徳美術館にあった作品の保管計画

地域の文化や歴史を保存するため、保管場所設置を計画している。観光資源としても活用できるよう準備を進めていく。

⑧ 観光資源としての活用提案

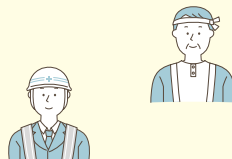
地域の歴史や文化を観光資源として活用する提案を行い、観光客を引き寄せる取組を進めていく。地域経済の活性化を目指していく。

⑨ 健康促進と文化の支援

健康促進や文化活動を支援し、住民の生活の質を向上させていく。地域全体の生活環境をより良くするための活動を行っていく。

⑩ 地域振興と支援

地域イベントや観光資源を活用して地域経済を活性化させる提案を行ってきた。外部からの観光客を誘致するためのプロモーションが必要である。



● 半澤 高 議員によるまとめ

桑折地区(会場：桑折公民館)での出席者は8名。出席者少数ながらも多種多様なご意見・ご要望を頂いた。

主な意見・要望は次のとおり。

【議会だよりの内容について】・学校教育の在り方・委員会活動報告の記述内容

【議員活動について】・行事やイベントに多くの議員参加を

【まちづくりへの要望等】・ペット同伴可能な避難所の開設を・水道管の耐震化は・足の不自由な方のために桑折駅跨線橋にエレベータを・郡役所周辺および美術館跡地利活用に関する議論の進展は・観光資源として半田銀山の有効活用(当時を体現できるような観光施設を)・空き家、空地、空店舗対策はそれぞれの意見・要望を参考に今後の議会活動・議員活動に活かしていきたいと考えている。

睦合地区

日時 令和6年11月6日(水) 18:30
会場 睦合公民館 参加者 14名

● 主な話題

① 交通アクセス改善と道路整備の課題

道路整備や交通アクセス改善に関する意見が多く、特に公共交通機関の不足や道路の老朽化に対する不満が強調された。

② 商業施設の整備と買い物環境の充実

商業施設の不足や近隣エリアに大規模な商業施設が少ないことに対する意見が多く、買い物の利便性を向上させるための提案が議論された。

③ 若年層のための住環境整備と移住促進

若年層や子育て世帯向けの住宅供給や支援策を強化し、移住を促進する取組が求められた。

④ 教育環境と子どもの生活環境の向上

子供の教育環境の整備や学校施設の充実に関する意見が寄せられ、学習環境を良くすることで家族の定住を促したいという声があがった。

⑤ 高齢者における交通手段の確保

高齢化が進む中、高齢者が安心して移動できる交通手段の整備が課題となり、特に車を使わない高齢者への配慮が求められた。

⑥ 地域の活性化と人口増加に向けた取組

地域活性化を図り、人口減少を食い止めるための施策が提案され、イベントやPR活動を通じて新たな住民を呼び込むアイデアが議論された。

⑦ 住宅地整備と住環境の向上

住環境の改善や道路等の整備に対する要望が多く、住みやすい地域づくりのための施策が検討された。

⑧ 教育施設の統廃合に関する議論

児童生徒数の減少や経費削減を背景に、学校統合が議題となり、賛否が分かれた。統合に賛成する意見は、効率的な教育リソースの活用や施設の充実をあげた。一方、反対意見では、地域コミュニティの絆が失われることや通学距離の増加に懸念を示す声があった。住民の考えを十分に把握し、検討すべき重要な課題となった。

⑨ 住民の声を政策に反映する取組

住民の意見や要望を地域の政策に反映させるため、透明性と信頼性のある仕組構築が求められた。

⑩ 大型商業施設進出による地域経済の影響

大型商業施設の進出が地域経済に与える影響に関する意見が寄せられ、地元商業圏への影響を考慮した施策が必要とされた。

⑪ 地域の歴史を活かした観光資源の活用

地域の歴史や文化を活用して観光資源として発信し、地域の魅力を高め、観光客の誘致を図る取組が提案された。



● 佐藤 武朗 議員によるまとめ

睦合地区で行われた議会報告会では、地区の問題、一般質問について、現在すすめられている小学校の在り方について3名から質問を受けた。

1件目は、牛沢地区の町内会長を数回務められた方からの質問、以前から地区の要望を町に提出していたが、一向に実現しない。町の中心地だけ各種事業を進めているが、町全体を公平に進めていただきたいなどの意見が出され、議長から当地区の今後の道路計画等の説明を行った。2件目は、下成田町内会長から、ある議員の一般質問に対して、議会だよりに記載されている以外の再質問についての質問があり、当該議員から答えた。3件目は、睦合小学校のPTA副会長から、現在、教育委員会で進めている小学校の今後の在り方について、各議員の意見を頂戴したいとの質問があり、議員一人ずつ考えを述べた。それ以外に、議会報告会の開催時期について意見が出され、議長より報告会の開催についての考えを述べ、報告会を終了した。

半田地区

日時 令和6年11月7日(木) 18:30

会場 半田公民館 参加者 20名



● 主な話題

①学習スペース「学VIVA」の設置理由等

高校生の勉強場所の提供を目的として、夜間でも利用可能な学習スペースが設置された背景が説明された。

図書館との差別化が必要との指摘があり、図書館が早く閉館するため、夜間学習スペースの必要があることが確認された。

高校生を中心とした学習スペースの利用が多く、夜間の安全確保や施設の継続的な運営が求められた。

②商店街の衰退と対策

地域商店街の衰退が深刻化しており、特に魚屋や酒屋の閉業が進む中、商業の活性化について議論が行われた。

③観光資源の活用と地域振興

「半田銀山」などの観光資源を活かした地域振興策が提案され、地域の歴史を観光に結びつけるアイデアが話し合われた。

④地域活性化に向けたシンポジウム開催の提案

観光資源を活用した地域活性化の一環として、シンポジウムの開催を通じて活性化の方向性を探る提案がなされた。

⑤町の総合計画の進捗状況

町の総合計画の進捗状況と今後の施策について説明があり、住民からは具体的な施策への要望があった。

⑥災害対応とインフラの強化

災害対策やコロナ禍における生活支援、インフラの強化が求められ、町の取組に対する住民からの質問があった。

⑦高齢化に対応した買い物支援と公共交通整備

高齢化を見据えた買い物支援や公共交通の充実が必要との声があり、町が取り組むべき支援策が検討された。

⑧地域おこし協力隊による商業活性化支援

地域おこし協力隊の役割について商業活性化への期待が寄せられ、町の支援策の強化が求められた。

⑨ゴミ処理制度の見直しとリサイクル推進

ゴミ処理まじりの改善やリサイクル意識の向上が求められ、町が具体的な取組を進める必要があるとの指摘があった。

⑩商店街再生に向けた町民参加の促進

商店街再生に向け、町民が積極的に関わるための体制づくりや、町からのサポートが提案された。

⑪学生ボランティアの活用

学生ボランティアの活用により、地域活性化のための新しい支援策が提案され、地域の若者の参加促進が期待された。

⑫地域イベントの活用による観光促進

地域イベントを観光促進の手段とするアイデアが出され、地元の文化や特産品の紹介を通じた観光誘致が提案された。

⑬定期的な住民会議の重要性

住民の声を反映させるため、定期的な会議の開催と継続的なコミュニケーションの重要性が再確認された。

⑭今後の課題と期待

会議で出された意見を町の政策に反映させることが求められ、次回以降の会議でもさらなる改善を期待。



● 岡本 貴士 議員によるまとめ

令和6年11月7日18時30分から半田公民館(半田コミュニティセンター)で開催された議会報告・意見交換会には、半田地区の町内会長をはじめ、町民が出席し、原議長による議会活動の報告と、参加者の質問・要望に議員が応える意見交換が行われた。

議会活動の報告では、9月開催の定例会において、令和5年度桑折町一般会計決算が認定されたこと、阿武隈川緊急治水対策プロジェクトの議員視察の様子が報告された。今夏も各地で豪雨災害が発生したことから、報告を興味深く聞く参加者も多く、その関心の高さが伺えた。

また、意見交換会では、「桑折町小・中学校のあり方検討委員会の運営上の懸念」「子育て支援に対する今後の取組」「半田銀山の活用」などの質問や要望が出された。

閉会后、参加者の一人は「議会報告と意見交換を通じて、町への理解が進み、議会との距離が縮まった。若い方の意見を聞く活動も期待したい」と話していた。

伊達崎地区

日時 令和6年11月8日(金) 18:30

会場 伊達崎公民館 参加者 14名



● 主な話題

①小中学校の統廃合

住民説明会と住民アンケートを通じ、地域住民の意見を反映していく予定。

②サイクリングロード整備

サイクリングロード整備についての懸念が議題となり、将来的な整備計画の進捗が確認された。

③農地バンク活用

農地バンクの利用促進と課題が議論され、来年度も引き続き活用を進める方向で準備中。

④防災対策

地域の防災体制強化が求められており、議会は住民の安全を守るための施策を検討。

⑤高齢者支援

高齢化問題に対する支援策として、地域社会でのサポート強化が重要視された。

⑥子育て支援

子育て支援の充実が議会のテーマとなり、住民からも関心が寄せられた。

⑦ゴミ処理施設建設計画

ゴミ処理施設の建設についての議論が継続中で、住民の意見を踏まえ計画が進行してきた。

⑧空き家対策

空き家の増加に対応するため、管理や活用の促進策について検討が進められてきた。

⑨地域行事への議員参加

各議員が地域行事に積極的に参加し、住民の意見を取り入れていると報告。

⑩住民意見の反映

住民の質問や意見を議会活動に反映する姿勢が確認され、住民参加型の政策決定が重視された。



● 川村 滋道 議員によるまとめ

伊達崎地区の議会報告会には14名の参加で開催。石幡議員の司会、半沢広報公聴委員長の挨拶、原議長の議会報告会の経過の説明後、参加者からの質疑。最初に学校統廃合に係る在り方検討委員会の内容の質問があり、今2回目の会で住民アンケートの準備中との回答。次の方はサイクリングロードの道路規制の件で11月末から住民に周知との話題提供。3人目は農地バンクの対応とゴミ焼却炉の現状はとの質問に3条申請許可なく貸し借り双方の合意で可能。農業委員の負担軽減と事務手続き軽減が目的と回答。焼却炉は伊達市から負担金は人口比で決めてくれとなって今後協議する。子育て中のお母さんから国保税均等割負担軽減と町外から町で就農してる知人が何の補助も受けられないで就農してる現状が出され、国保税の未就学児の負担ゼロには議会での要望と就農者補助については調査するとの回答。大阪からの移住者は議会と住民が近いと感想を述べた。





議会活動状況報告

◀詳しくは、こちらから

令和6年9月20日～令和6年12月10日

月 日	活 動 状 況	内 容	対 象 者
9.30	令和6年度桑折町「未来を描く」作品審査会	受賞作品の審査	議 長
10.1	議会全員協議会	9月定例会の総括について	全 議 員
10.2	議会全員協議会	東日本大震災に係る義援金の未配分事案について	全 議 員
10.3	桑折町小・中学生「税に関する作品」審査会	審査会	議 長
10.4	伊達地方衛生処理組合議会議員視察調査	視察先：東部知多衛生組合 東部知多クリーンセンター（名古屋市）	選出議員
10.5	釀芳幼稚園運動会	運動会	議 長
10.15	公立藤田病院組合議会全員協議会	令和6年第3回組合議会定例会提出議案について	選出議員
10.15	令和6年第3回公立藤田病院組合議会議定例会	議案6件、認定1件(令和5年度決算)	選出議員
10.18	桑折町高齢者作品展審査会	表彰作品の審査	議 長
10.19	令和6年度各地区小学校学習発表会	学習発表会	議 長 外
10.19	桑折町文化祭	総合開会式にて祝辞	議 長
10.20	桑折町文化祭	芸能・ダンス発表会内に挨拶	議 長
10.22	伊達郡町議会議員大会決議事項等要望活動	地元選出県議会議員・知事、県議会議長、土木部長、等々	議 長
10.23	伊達地方消防組合議会全員協議会	令和6年第5回組合議会定例会提出議案について	選出議員
10.23	令和6年第5回伊達地方消防組合議会定例会	報告1件、令和5年度決算認定ほか議案計4件	選出議員
10.23	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	令和6年第3回組合議会定例会提出議案について	選出議員
10.23	令和6年第3回伊達地方衛生処理組合議会議定例会	令和5年度決算認定3件ほか議案計6件	選出議員
10.25	福島県町村議会議長会 町村議会議員研修会	岐路に立つ議会改革、今後の政局・政治展望	全 議 員
10.26	釀中祭	文化祭	議 長 外
10.27	桑折町消防団秋季検閲	祝辞	議 長 外
10.29	議会全員協議会	「調査特別委員会」の設置について	全 議 員
10.30	県町村議会議長会 地方自治研究セミナー	当面する農村・農業問題の解決にどう取り組むか	全 議 員
10.31	議会運営委員会	陳情の受付について、議会基本条例第20条に基づく検証	選出委員
10.31	令和6年度桑折町「未来を描く」作品表彰式	祝辞、賞状・記念品授与	議 長
11.5	議会報告・意見交換会	議会報告および意見交換(桑折地区)	全 議 員
11.6	議会報告・意見交換会	議会報告および意見交換(陸合地区)	全 議 員
11.7	議会報告・意見交換会	議会報告および意見交換(半田地区)	全 議 員
11.8	桑折町表彰式	表彰式	議 長 外
11.8	議会報告・意見交換会	議会報告および意見交換(伊達崎地区)	全 議 員
11.12	ふくしま駅伝桑折チーム選手壮行会	激励のことば(議長)	議 長 外
11.13	第68回町村議会議長全国大会	要望、決議、特別決議、実行運動方法	議 長
11.17	第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会	ふくしま駅伝桑折チーム応援	議 長 外
11.19	議会全員協議会	令和6年第5回桑折町議会臨時会の議事日程等について、提案内容の説明、歴史観光交流センター基本構想について	全 議 員
11.19	令和6年第5回桑折町議会臨時会	承認1件、補正予算2件審議採決	全 議 員
11.28	令和6年度桑折町・国見町交通安全町民大会	大会(来賓祝辞)	議 長
12.2	議会OB会研修会	議会活動状況について講話	議 長
12.4	議会全員協議会	令和6年第4回桑折町議会定例会の議事日程等について提案内容の説明	全 議 員
12.4	令和6年第6回桑折町議会定例会	町長提案理由、補正予算、審査結果報告等	全 議 員
12.5	議会全員協議会	令和6年第6回桑折町議会定例会(第2日)の議事日程等について	全 議 員
12.5	令和6年第6回桑折町議会定例会	一般質問(5名)	全 議 員
12.6	議会全員協議会	令和6年第6回桑折町議会定例会(第3日)の議事日程等について	全 議 員
12.6	令和6年第6回桑折町議会定例会	一般質問(5名)	全 議 員
12.10	議会全員協議会	令和6年第6回桑折町議会定例会(第7日)の議事日程等について	全 議 員
12.10	令和6年第6回桑折町議会定例会	条例改正2件、条例廃止1件、規約変更1件、補正予算5件審議採決、追加議案審議採決	全 議 員
12.16	県町村議会議長会 地方自治研究セミナー	高齢者が安心して暮らせるまちづくり政策について	全 議 員

議会活動状況報告 諸活動

第36回ふくしま駅伝競走大会の応援

●日時 令和6年11月17日(日) 午前中

●場所 郡山市～本宮市区間

●応援者

第9区 斉藤 謙 半澤 高
羽根田ひとみ

第10区 川名静子 半沢正保

第11区 石幡政子 鈴木隆志

県民の体力の向上と、『『日本一』のふくしまをつくる』をスローガンにタスキをつなぎ震災からの一日も早い復興を願う、「ふくしま駅伝(第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会)」が好天の中、開催された。各議員は、第9区～第11区を担当し、桑折町を代表して力走する選手に声援をおくり応援してきた。総合成績は、第21位 タイム5：34：16と素晴らしかった。全16区間96.3キロを走り抜いた選手ならびに監督はじめ関係者の皆さまに感謝。



令和6年度町村議会議員研修会

●日時 令和6年10月25日(金) 13：00～16：00

●場所 郡山市ビックパレットふくしま
コンベンションホール

福島県町村議会議長会主催の議員研修会が開催され、12名の議員が出席した。

はじめに「岐路に立つ議会改革ーポストコロナと集権化の中でー」と題して、明治大学政治経済学部・教授 牛山久仁彦氏が講義した。議会をとりまく環境は劇的に変化、著しい人口減少、議員のなり手不足などに直面している。だからこそ地域の実情に即した議会の在り方を住民との合意形成の中で示していかなければならないと強調された。議会改革に積極的に取り組んでいく必要性を実感した。

続いて、「今後の政局・政治展望」と題して、ジャーナリスト・NEW23メインキャスター 星 浩氏が講義をした。アメリカ大統領選挙、衆議院選の動向についてご説明いただき、これからの政局について理解を深めることができた。



地方自治研究交流セミナー

第1回 ●日時 令和6年10月30日(水) 13:30～15:30 ●場所 桑折町保健福祉センター「やすらぎ園」

福島県町村議会議長会主催伊達郡町村議会議員(桑折町・国見町・川俣町)を対象にした研修会が開催され12名の議員が参加した。

演題「当面する農村・農業問題の解決にどう取り組むか」ー改正食糧・農業・農村基本法の期待と課題ー 講師 国立大学法人福島大学 食農学類長 荒井 聡先生にご講演いただいた。

- 農業をしたい方は多く、地域側もそれを受け入れる受け皿を作っていくことが重要
- 小さな規模の農家や家族農業の支援は、農地を守るために絶対に欠かせない
- 食糧安全保障の観点から、食糧自給率の目標を明確にし国産国消運動
- 小麦に力を入れるのなら、適切に営農指導ができる人材を育成
- 将来有望なやりがいのある職業として、スマート農業をさらに前進
- 我が国にとって食糧自給率を高めていくことは喫緊の課題

以上のような、主な項目等について、人口減少下における農業のあるべき姿について理解を深めることができた。

第2回 ●日時 令和6年12月16日(月) 13：30～15：30 ●場所 国見町観月台文化センター研修室

福島県町村議会議長会主催伊達郡町村議会議員(桑折町・国見町・川俣町)を対象にした研修会が開催され9名の議員が参加した。

演題「高齢者が安心して暮らせるまちづくり政策について」 講師 国立大学法人福島大学行政政策学類 教授 鈴木典夫 先生にご講演いただいた。

2000年施行された社会福祉法第4条(地域福祉の推進)を基に、次の4つの視点からご説明いただいた。①孤立化防止 ②終活 ③健康づくり(高齢者生活のDX化) ④民生委員問題

高齢化する社会に対応する政策の示唆をいただいた。今後さらに研鑽を深めていきたい。



町民の声



議会モニターの皆さまより「議会だより」秋号VOL.138のご感想等をいただきました。これからの紙面づくりに生かしていきます。ありがとうございました。

今回は、「読んでいただける『議会だより』にするために？意見・要望・その他(ご自由に)」について掲載します。

若い世代に町政に興味を持ってもらえるようになってほしい。(小中学生による模擬議会等)

表紙に主な内容が記載されていたが、1ページ目に目次があった方が議会・議会だよりの全体構成も把握できて、良いと思う。「一般質問」において書ける・書けない、各議員の立場等、諸々理由はあると思うが、単に問・答だけでなく、討議になった内容や町の回答に疑義が生じた部分などが記載されると読み物として面白いと思う。各議員の発した意見は記載されているが、思いが伝わりきらない。(議会を傍聴(web視聴)できる方も少ないと思われるため)

興味の無い人にとって数字や文字が多いと、それだけで見る気がなくなってしまうが、レイアウトなど見やすく工夫されていると思う。議会だよりとは直接関係ないが、一般質問以外の議会の中継録画をインターネットで後から見ることは出来ないのか？

裏表紙の挿絵の様に、議会だよりは大人だけに向けたものだ。しかし、議会だよりに限らず子供が参加できる場や機会を作ることが大事ではないか。実際、興味のある子供は少ないと思うが、高校卒業後ほとんどが都会を目指す彼らにとって、地域の問題や行政を知る機会は、その前までだ。選挙の投票率が若い世代ほど下がる原因は、「仕組み」は教わっても「現実」を体験していないからだと思う。

若い世代に、手に取っていただける紙面づくりを工夫してまいります。

編集後記

歴史と文化の町を象徴するように、2023旧伊達郡役所140年、2024半田銀山再興150年、そして本年は桑折町制施行70周年記念イベントが数多く計画されています。これらのイベントを通して、本町を再認識し、住民であることの誇りが高まっていくものと考えております。

議会だより編集委員も新しくなり、さらに町政がよりよく発展していくため、若い世代の皆さまにも積極的に手にしていただけるような「議会だより」づくりに取り組んでまいります。

半沢正保

まちの歳時記

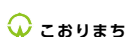
歴史と文化のまち「こども歴史案内」



28

● 広報広聴常任委員会編集委員

委員長 半沢 正保 副委員長 石幡 政子
委員 齋藤 松夫 委員 羽根田ひとみ



こおりまち
議会だより

令和7年1月22日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 原 賢志

編集 広報広聴常任委員会

電話 024(582)2113
印刷 株式会社神尾印刷所